

# 平成27年度財政状況公表

団体名：上士幌町

## 総合評価

### 債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

留意すべき状況にはないと考えられる

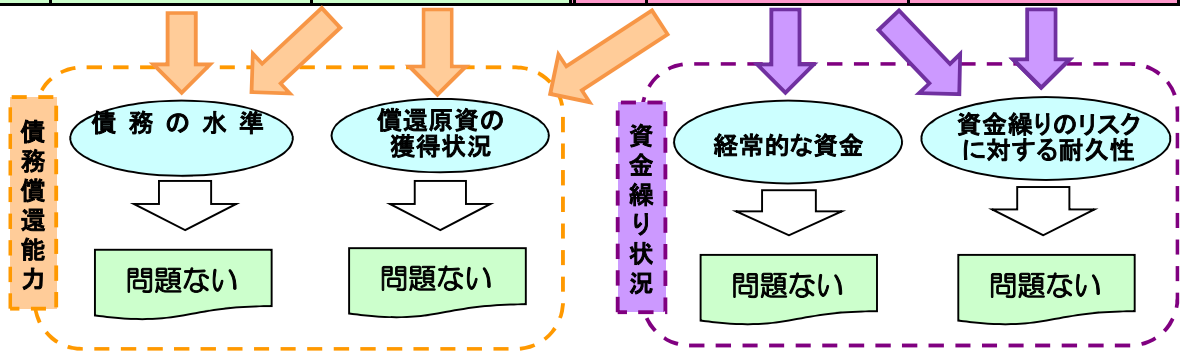
### 資金繰り状況

〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

## 財務指標 (平成27年度決算)

指標	①実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	②債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入}}$ 〕 ※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕 ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕 ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
注意	24.0月		問題なし	20.1%	15.5月
やや注意			やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	18.0月	15.0年	注意	0.0%	1.0月
	▲2.2月	0.0年			



## 今後の見通しと留意点

### (1) 財政健全化への取組

貴町では「ふるさと納税」について、制度発足初期から積極的に対応したため、毎年寄付金額が増加し、平成28年度は約21億円となった。貴町ではそれを財源に認定こども園の無償化(平成37年度まで)などの子育て支援策の充実などを図っており、人口の増にもつながっているものと考えられる。また、「地域おこし協力隊」を活用し特別交付税措置による人件費負担の圧縮や、廃校となった旧学校施設を取り壊さずに企業に貸すなど、歳出の抑制にも取り組んでいる。今後は公共施設の再整備で多額の積立金の取り崩しが予定されているほか、ふるさと納税額の減少や人口減による地方税収入の減少などが考えられることから、実質債務の増加防止や歳入の確保、歳出の削減に留意するなど、引き続き健全な財政運営に取り組んでいくことが望まれる。

### (2) 地方創生に向けた取り組み

平成27年度に人口減少を抑制し、地域経済の活性化を図るべく「生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業」を立ち上げ、国の地方創生加速化交付金の採択を受け、(株)コミュニティネットと基本構想策定等の委託契約を締結した。また、平成29年度に3か年の国の地方創生推進交付金が採択され、事業主体となる「(株)生涯活躍のまち かみしほろ」が設立予定となっている。今後は地域包括ケア事業や人材センター等の事業を町から受託し、将来的に独自の事業を実施していくとともに、サ高住の可能性を検討していくこととしていることから、人口流出を抑制し、移住定住の促進につながることを期待される。